

ベネッセの教育改革は、 もう始まっています。

子どもたちは、これまでよりはるかに予測が難しい未来を生きていきます。多くの人がスマートフォンを持ち、様々なモノがインターネットでつながり、さらにはAIが人間の仕事を担いつつある現在。10年、20年先の社会は、よりダイナミックに、かつグローバルに変わっていくことでしょう。

激変の時代を見据えて、2020年に始まる教育改革。その目玉とも言える大学入試改革では、従来にはなかった評価方式が導入されます。例えば、新たな大学入学共通テストの英語は「聞く・読む・話す・書く」という4技能が問われます。

ベネッセは、大学入試改革がまだ議論さえされていない四半世紀前から「使える英語」にこだわり続け、1999年にアメリカのテスト会社と英語検定を開発しました。それが、現在の英語4技能検定「GTEC」です。いまや年間の延べ受検者数は100万人を突破。次の時代を先取りした英語力のモノサシとして、これからも学習や指導の質向上を支え続けるとともに、子どもたちが自分らしく未来を切り拓くための学びを届けていきます。



2017年度
年間延べ受検者数

約 **102** (見込)
万人

スコア型 **英語4技能** 検定 ジーテック

GTEC

中高生対象の
スコア型英語検定
受検者数 **No.1**

スコア単独型検定(3技能受検者含む) / GTEC受検者数は2017年度数値(見込)、他社受検者数は各社の公式発表の資料より自社算出

年間受検校数 約 **1,850** 校 全高校・中高一貫校 約5,000校中 / 2017年4月～2018年3月(見込)

大学入試採用数 **348** 校 2017年11月現在

2000 2005 2010 2015 (年度)